

一人ひとりが認め合い、

いきいきと輝くまち

をめざして



人口減少及び少子高齢化の進展、家族形態の多様化、地域社会の相互扶助意識の希薄化、雇用・就業環境の変化など私たちを取り巻く我が国の社会環境は、大きく変わってきています。このような変化に対応していくためには、仕事、家庭、地域生活など、多様な活動を自らの希望に沿った形で展開でき、男女がともに夢や希望を実現することで、一人ひとりの人生を豊かなものとする男女共同参画社会の実現が不可欠です。

小郡市は、これまで平成16年3月に「小郡市男女共同参画計画」を策定し、その後、平成20年4月には「小郡市男女共同参画推進条例」を施行し、市民の皆様とともにさまざまな施策に取り組んでまいりました。

しかし、平成24年10月に行った市民意識調査では、依然として、夫は仕事、妻は家庭という「固定的な性別役割分担意識」が残っていることが分かりました。また、女性への暴力の防止、政策・方針決定の場への女性の参画の促進など解決しなければならない課題が多く残されています。

このような状況の中、男女共同参画に関する市民の意識向上やさまざまな課題に対応するために、今後10年間に取り組むべき施策の指針とする第2次小郡市男女共同参画計画を策定いたしました。

男女共同参画社会の実現に向けて、市民の皆様と協働してさまざまな施策に取り組み、「一人ひとりが認め合い、いきいきと輝くまち おごおり」をめざしてまいります。より一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、計画の策定にあたりご提言いただいた小郡市男女共同参画社会推進審議会委員の皆様をはじめ、意識調査や団体ヒアリングなどで多くの貴重なご意見をいただいた市民の皆様に心から感謝申し上げます。

平成26年2月

小郡市長 平安正知